

ますます便利に！ご利用ください

乗合タクシー「うしタク」とかっぱ号「ひたち野うしくルート」がスタート！

牛久市乗合タクシー「うしタク」と牛久市コミュニティバスかっぱ号の「ひたち野うしくルート」の運行が開始となり、初日となった10月1日、第一便の出発を前にひたち野うしく駅でテープカットや写真撮影などの出発式が行われました。

「うしタク」はご自宅から任意の市内目的地まで、ドア・ツー・ドアで運行。高齢者や運転免許を持たない方の移動手段を確保するとともに、公共交通不便地域の解消を図ります。また、かっぱ号の全車両で交通系ICカードの利用も10月1日からスタート。根本市長は「これらの公共交通の改編が市民生活の一層の向上になる」と胸を張ってあいさつしました。



1



2



3

- 1 かっぱ号ひたち野うしくルートテープカット
- 2 根本市長から(株)セキショウキャリアプラス渡邊誠代表取締役様に「うしタク」表示マグネットが手渡されました
- 3 かっぱ号の交通系ICカード支払機



障がい者福祉の向上のために

牛久市障害者連合会より要望書提出

9月27日、牛久市障害者連合会より牛久市へ、障がい者福祉に関する理解や問題解決のための要望書が提出されました。内容は、障がい者が生活するための福祉サービスの充実、災害時の緊急避難場所などを要望するもので、御代川会長は「実現には行政の強力なバックアップが必要です」と話しました。



日々の防犯活動に感謝

防犯協会から表彰と伝達式

地域の安心・安全のため、日夜防犯活動を続けているボランティアの皆さんが防犯協会からの表彰を受け、10月8日に市役所で伝達式が行われました。市民を守る日々の活動に感謝いたします。

【受賞団体、受賞者(敬称略)】

- 関東防犯協会連絡協議会 特別功労団体表彰
緑ヶ丘行政区パトロール隊
(代表 齋田 文彦)
- 茨城県防犯協会 地域安全ボランティア団体表彰
かわはら台行政区防犯パトロール(代表 大橋 澄子)
- 茨城県防犯協会 優良防犯連絡員表彰
坂本 義徳、田沼 不二男、橋本 彊



寄付・寄贈

温かい善意ありがとうございます

牛久市社会福祉協議会へ

- 岡田地区スポーツ交流会主催ゴルフ大会から4,430円寄付



牛久第二小学校へ

- 野口ハウジング(株)から運動会用テントを寄贈



最高の思い出を！

牛久南中3年生「南中フェス2020」

新型コロナウイルス感染症の影響で修学旅行が中止となった牛久南中学校では、生徒の発案により、10月12日に代替行事として「南中フェス2020」が開催されました。

この行事を企画し実施したのは3年生たち。オープニングセレモニーから始まり、鬼ごっこ、クラスマッチ、有志による発表、きもだめしと盛りだくさんのイベントが続きました。フィナーレにはサプライズで打ち上げ花火が上がり、生徒たちは最高の一日が終わるのを惜しむように眺めていました。



南中フェス2020の様子は、YouTube牛久市公式チャンネルで公開しています。ぜひご覧ください。



牛久産ブドウでワイン

牛久シャトーと茨城農芸学院が連携

牛久シャトーと茨城農芸学院では、牛久産ワインの原料のためのブドウの栽培について連携しています。現在、茨城農芸学院では、牛久シャトーからブドウの栽培方法を学んでおり、9月23日には牛久シャトーのブドウの収穫に同学院の職員も参加し、来年度からの本格栽培を目指しています。

また、10月13日、田所嘉徳法務副大臣が茨城農芸学院を視察し、「地元の期待もかかっている」と三好清凡^{みよしきよひか}学院長に話し、ブドウ栽培に期待を寄せました。



1 牛久シャトーでブドウを収穫する茨城農芸学院の職員

2 茨城農芸学院のブドウ栽培予定地を視察する田所法務副大臣(写真中央)

茨城のブランド食材に舌鼓

給食で常陸牛と奥久慈しゃもを提供

新型コロナウイルス感染症の影響で売り上げが減少した県内の食肉生産農家を応援するため、「常陸牛」と「奥久慈しゃも」が市内の小・中学校、義務教育学校などで、10月から12月の3カ月間、それぞれの食材が月に1回提供されています。

10月12日、ひたち野うしく中学校では常陸牛の牛丼が提供され、10月13日、牛久南中学校では奥久慈しゃもの親子丼が提供されました。生徒たちは「すごく美味しい。食べられてラッキー」などと笑顔でほおばりました。



1 ひたち野うしく中で提供された常陸牛給食の様子

2 牛久南中で提供された奥久慈しゃも給食の様子

うしく河童大根の出荷が始まりました

秋冬大根目揃会

10月15日、JA水郷つくば大根生産部会主催による秋冬大根の目揃会が行われました。「うしく河童大根」として出荷されるこの大根は牛久が誇るブランド農産物。肌がきれいで食感がやわらかいのが特長です。同部会長増原進一さんは、「7月までなかなか雨が降らず、降水量が少なかったため、高温乾燥に苦しんだが、今年は豊作で美味しくできた。生でも煮ても美味しいので、皆さんもぜひ味わってください」と話しました。



▲洗浄を終えた大根を選別する様子。



自分たちの思いを形に

おくの義務教育学校で校章作りの授業

今年4月に開校したおくの義務教育学校では、児童・生徒が地域の方々の指導の下、新しい校章作りの活動をしています。これまでも美術の授業で校章について学習し、児童・生徒は個々に校章のデザイン案を作成しました。

9月30日には同校で5～9年生を対象に千葉大学教育学部の後藤雅宣教授(小坂町在住)を招き、「校章作り」についての授業が行われました。授業では校章のデザインの成り立ちやデザインが時代とともに変化していること、込めたい思いを象徴化することなどを学びました。

9年生の川尻真之佑さんは「校章を作る機会を持たせたのは新しい学校だからできること。みんなと協力して学校にふさわしい校章にし、奥野小、牛久二中、それぞれの伝統を引き継いでいきたい」と話しました。

今後はこの日に出た意見と児童・生徒のデザインをもとに後藤教授がデザイン数案を作成し、その中から児童・生徒と話し合いを重ね校章を決定していきます。完成した校章は12月に開催予定の「感謝のつどい」でお披露目されます。



本が大好き！読書賞もらったよ

中央図書館 読書手帳100冊達成で表彰

9月29日、中央図書館で市内在住の小磯道允くん(6歳)が読書手帳100冊達成を記念として、染谷教育長より表彰されました。読書手帳を100冊達成された方は、今回が初めてで、現在の読書手帳は120冊目。絵を見るのも字を読むのも好きで、紙芝居の読み聞かせをしてもらうのが特に大好き。来年から小学生になる道允くんは学校の図書館を楽しみにしているそうです。



▲ずらりと並んだ読書手帳の前に教育長と話す道允くん

牛久沼で大きく育ちますように

牛久沼うなぎ放流

9月27日、牛久ロータリークラブと牛久沼漁業協同組合による「牛久沼うなぎ放流」が行われました。今年は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、一般参加者の募集は行わずに、主催者や関係者等約40人が参加。参加者はバケツに入ったうなぎを放流し、約600匹の旅立ちを笑顔で見送りました。



河川や池沼、水田などでよく見かける「白鷺しろさぎ」の仲間。一般に白いサギを「白鷺」と呼び、牛久周辺では、大きい順にダイサギ、チュウサギ、コサギ、アマサギの4種類が観察できます。そのうち、昆虫や小動物を主食とするチュウサギとアマサギは夏鳥で、秋に群れて南方に渡って行ってしまったため、冬に見られるのは魚を主食とするダイサギとコサギの2種類です。普段は水中に潜っていたり、泥が付いていたりしてよく見えないのですが、コサギは足の指が黄色い特徴があります。



コサギ(小鷺)
ペリカン目サギ科

しぜん大好き